

第33回石川建築賞 受賞作品

★知事賞 鈴木大拙館

設計者：谷口建築設計研究所

施工者：清水・豊蔵特定建設工事共同企業体

[金沢市本多町]



多くを語るのではなく、寡黙こそふさわしい建築である。全体的に静謐な空間を醸成し、禅寺の空間を現代的素材で表現した、洗練されたデザインである。来館者は仏教哲学者・鈴木大拙の業績を知るといよりも、各空間を巡り、空間体験をとおして鈴木大拙の世界観をどのように感じるかを投げかけているような配置構成は卓越している。

玄関棟の内部回廊は、聖なる空間へ誘う回廊のようで、禅寺の静寂で緊張感が漂う回廊のようでもある。これに続く展示棟では、展示品や書物を最小限に留め、シンプルな空間を強調している。そして、展示棟から思索空間棟に繋がる外部回廊と水鏡の庭からなる空間は、背後の「本多の森」を借景とし、現代的でありながらどこか日本的な空間を醸成していて高く評価される。

◎優 秀 賞 金沢海みらい図書館

設計者：シーラカンスケイアンドエイチ株式会社

施工者：戸田・兼六・高田特定建設工事共同企業体

[金沢市寺中町]



敷地の一边は交通量の多い幹線道路に接続し、他方は戸建ての住宅が建ち並ぶ敷地環境にあって、図書館建築として如何にして周辺との調整を図るかが大きな課題であった。

これに対して水玉模様の包装紙に包まれた箱を連想させる斬新なデザインで、かつシンプルで印象的なシルエットを創ることで、地域のシンボリックな存在となるよう解を提示したところに高い評価が

下された。

2階の一般閲覧空間は、2層分の吹き抜けとしたダイナミックな空間で、気持ちの良い読書空間を創出している。それは無数にあげられた丸窓からの外光の効果である。曲面処理によりやわらかく自然光を内部へ導かれ、空間的な豊かさ醸成されているからである。この開口部のデザインは、大空間の構造デザインと整合性をとり、今後の新しい空間を創り出す可能性を生み出したところも評価された。

◎優 秀 賞 金沢工業大学21号館福利厚生棟

設計者：水野一郎・蜂谷俊雄＋金沢計画研究所

施工者：鹿島建設・池田建設 共同企業体

[野々市市扇が丘]



金沢工科大学園・東キャンパスの整備計画の一環として建設された学生食堂、ブックストアなどが入る福利厚生棟である。

全体的なファサード構成は、既存建築群のファサードの要素とスカイラインを揃えて調和を図りつ

つ、独創性の高い造形を生成しているところが高く評価されている。

なかでも印象的で大胆なデザインが施されている、小さなドームが無数載る低層部の屋根の造形である。このデザインの源泉はイスラム文化圏によく見かける屋根造形を想起させる。低層部の内部空間は、食堂や売店が入り、吹き抜けのダイナミックな空間を構成し、キャンパスのなかで最も賑わいのある場所で、明るく快適な空間となっている。また、環境負荷低減への配慮として、屋上緑化、日照調整のルーバー、外壁のダブルスキンなども評価された。

◎優秀賞 泉野出町の家ーN邸

設計者：吉島衛建築研究室

施工者：みづほ工業株式会社

[金沢市泉野出町]



成熟した住宅地のなかにあつて建物の高さを抑え、しかも前面道路からセットバックする計画により町並みに対して控えめな表構えをみせる住宅である。

そして、敷地とアプローチ・庭などの視線の抜けや広がり方などの計画や処理の仕方は、

入りやすい印象を与える優作である。

ことに建物と中庭の関係は、回遊性のある空間とし、内部と外部が一体性を高めている構成は高い評価を受けている。また、細部にわたってきめ細かいディテールとそれぞれの仕様素材の特徴を活かした仕上がりも素晴らしい

◎優秀賞 N-HOUSE

設計者：建築設計事務所バラケッタ+有限会社植木建築設計事務所

施工者：株式会社 トーケン

[小松市白江町]



小松市近郊の新興住宅地に位置する、高さ4メートルの打ち放しコンクリートの壁に囲まれたコートハウスタイプの住宅である。

前面道路は交通量の多く、騒音などからプライバシーをどう確保するかが大きな課題であったが、4mという高さを最大限活かした空間づくりがみられ、熟年夫婦世帯の終の棲みかとして、空間的贅沢さが好感をもって受け入れられる。それは禁欲

的なデザインの精神が貫かれているからである。

平面構成は単純明快でプライベートとパブリックゾーンが区切られ、各部屋に応じた大小の分割された中庭は、内外の空間構成にメリハリをつけて心地のいい構成が高く評価された。

入 選 寺地の家

設計者：松島健建築設計事務所

施工者：株式会社 清水建築

[金沢市寺地]



まだ水田が残る新興住宅地に建つこの住宅は、落ち着いた色合いの、威圧感のない、周辺の住宅と調和した景観を形成している。

平面構成は若い世代の住宅ということもあってコンパクトにまとめられている。特に一段低くなった居間は、こじんまりした空間で居心地が良い。そして正面に開けられた窓は、東側の庭がみえピクチャウインドウさ

ながらである。

また、クライアントの強い要望で、内部では使用する材料を化学物質を含まない自然素材に限定し、住環境を快適なものにしており、内部の構成素材が持つ柔らかさをデザインしたところが評価されている